やっとサヤに作らせた
「直接飲むか気化した状態で吸い込む
ことで性的興奮を促す、高揮発性の媚薬」
が届いたの…。
サヤには世話になりっぱなしじゃな…。

のだ!!

ふぉ。

蓋を開けておくだけで
勝手に気化する…と。

これで先生と…♡
あはんうふんじゃな♡

ふぉ…

ふむ…。想像すると少し…
身体が疼いてくるの…。

うずぅ

うずぅ

手慰みで少しだけ
治めるとするかのう…♡

ストストっ

くちゅ

スッ

アーッ

アーッ

アーッ

アーッ

門主様ッ！
失礼いたします！

ビクッッ

ムッ

もりもりもり

お。

え。

ホゲ

お、おぉ…ご苦労。
な、なんの要件かの…？
あ、この水蒸気は気にする
でないぞっ。
すぐ消える。（はず）

あ～…あれか。
確か執行部長から何か
言われておった気がするぞ。
縦笛が何とかじゃったかの？

も、申し訳ありませんッ門主様ッ
その…先ほどの水蒸気？を吸った
時から何と言いますか…。身体が…

あぁ…（諦）

股間部に違和感…と
言いますか…熱いモノが…
抑えられないほど大きくっ
これは一体…っ？

な、なんじゃ!?
そんな効能は聞いてな…
いやッ！そうでない！
その…「ソレ」はどうにも
なりそうにないのか…？

ビキ…♡

申し訳ありません…
突然のことで…。
なんだか気分も
おかしなことに…

一度退室を…

ムラ…♡

よい…待つのじゃ。
妾に考えがある…。
そも、原因は妾に…

と、とりあえずじゃな。
その状態で外に出るのは得策ではなかろう？

しかし…。

要するに、ソレを
一度治めればよいと
いうワケじゃな。

妾は丁度その術を
知っておる。
（先生を襲うために
調べたので）

すぐ終わるはずじゃ

じゃが、ここでは人目につく
可能性があるの…。
着いてくるがよい。ほれっ。

はようしないとソレがどうなるか
わかったもんじゃないからの…♡
鍵はしっかりかけておけ…♡

ムラ…っ

大丈夫じゃ…♡
今楽にしてやるぞ…♡

フーッ
フーッ

あ、あのっ門主様っ!?
何をされてるのです!
そのような…っ!

おやめください門主様!
コレは自分で何とか
しておきますのでっ!

あれっ全然聞こえてない?
息荒くなってるッ!

ドキ
ドキ
ドキ

ぬぎぬぎ

こんなに膨らませて…
苦しかろう…?♡
妾に任せておけ…♡

苦しむ部下を「慰め」るのも
門主の勤めじゃ…♡

カチャ
カチャ

あぁ…門主様…

や、やっぱり…

グイグイ…

そう拒むな…♡
ちょうど妾もそういう
気分なのじゃ…♡
悪いようにはせ

ドキ

ドキ

ボロン

ブンッ

んっ

門主様がそこまでおっしゃるなら…。
ど、どうかお願いいたします…。
あっ…♡門主様の息が…っ♡
腰が勝手に動いてしまいますっ♡

フーレッ

フーレッ

フーレッ

ドクッ…

フーレッ

それで…どうすればこの…おちんちん
は治まるのでしょうか？

あ…♡

本来は女性器に挿入するものじゃが…っ♡

ギシッ

ギシッ

妾のは…先生の…ゴニョ…。こ、今回は代わりとして「違う穴」に挿入して発散するのじゃ…♡

違う穴…？

ズキッ

ズキッ

ズキッ

今は…この部屋にお主と妾しかおらんからの…♡

何も考えずに本能(おちんぽ)に従うのが解決に最も有効じゃ♡

ドキッ

ドキッ

ドキッ

ドキッ

ドキッ

ドキッ

妾のアナル…♡好きにするがよいぞ…♡

ドキッ

ドキッ

門主様の新品ぷにぷにガキアナルっ♡

ケツ穴拡げておちんぽぶち込みたいっ♡

ナカにびゅ～って気持ちいい射精っ♡

おちんぽ限界…ッ♡

門主様にそんなこと…

ハッ

ハッ

ハッ

門主様…申し訳ありません…。もう
おちんぽでしか考えられない…っ♡
理性のかけらもない快楽を求める
本能の奴隷になりましゅっ♡

ビクビク
ズボッ
ぐぐぐ…
も、門主様のケツまんこ…♡
ちんぽでブチ犯す…っ♡

ぐぐぐ…
ぶるるるっ
ビクビク
うぉ…♡
きつ…♡
門主様のナカ
気持ちいいっ♡

ビクビク
ビクビク
ガキアナル奥まで
ぶち犯す…っ♡

ビクビク
ビクビク
おおぉ…
ビクビク

ビクビク
ビクビク
キュ～♡

おちんぽで頭バカになるっ♡
ナカに全部出すことしか考えられないっ♡
門主ガキアナル犯すの最高っ♡
せーし上がってきたっ♡ナカに出すっ♡

もう我慢できないっ♡
門主アナル気持ち良すぎて
腰止まらないッ♡
おねだりしやがってッ♡

打ち付ける度に揺れる
ケツ肉エロすぎっ♡

もっと門主様の
汚い喘ぎ声聞かせろっ♡

もうイく…ッ♡

ぱちゅ
おっ
おっ
おっ
おっ
おおっ
おおっ
おおっ

イくイくッ♡全部受け止めろッ♡
ケツ締めてせーし搾り取れッ！
…ツイくツツ……!!

ビュルルルル

ビュルルルル

ビュルルルル

…あれ…？なんで…。
門主様…？お尻……？

ビクン

ビクン

ビクン

ビクン

ポカッ

ダメだ…脳が全然働かない…。
ただ気持ちよくてスッキリして…
射精…射精…？そうだ、確か―

これ…部屋に来た時
門主様が投げて…
水蒸気を吸って…。

それから…身体が熱く
身体がおかしくなって…
理性がぶっ飛ぶほどの
快感を求めるだけの獣

はぁ…はぁ…

これ

び妾のナカに沢山
びゅ～♡して…♡

ちゃんと気持ちよく
なれたかえ…？♡

あ…♡

むらむら

だ、男性器がまた大きくなってきてしまったので…不本意ですがっ♡
も、もう一回っヤラせてください門主様ッ♡

―おちん…―門主様―ケツ穴だけ―も―

オナホ―ぶち犯す―♡

ガチャッ

やった来たかえ。今日呼び出した理由は…。言わなくても分かるの？

せ、先日は―

まぁ良い。傍で話そう。先日の話の続きからじゃな。執行部長の縦笛紛失の件…。放っておいてもよかろう。

それと別件で、玄武商会に縦笛が忘れ物として届出があったらしいのじゃが…―

申し訳

のわ～～～～手が滑りよった～

ん～事故じゃなあ…。
これは仕方のないこと。
お主に責任はない。

ということで
まずは深呼吸じゃ。
よ～く深く吸って
吐くのじゃぞ。
ほれ～～～～。

モクモク

も、門主様ッ！これ
先日の妙な液体じゃ
ないですか!?
な、なぜ…ッ！

なぜ…？何故じゃろうな…？
妾にはよくわからないの～

フーミ～

フーミ～

フーミ～

はて…？口ではそう言うが
妾にはシたくてしょうがない様に
見えるがの…？ココが…♡

お主もそろそろ…♡
「苦しく」なってきたかえ…？♡
苦しいのはいかん…。
しっかり発散することが大事じゃ。

も、門主様…。
こんなこと…っ

(いえ)

(あいじ

それは…っ♡

ほれ。ココからひどい匂いもしておるぞ…♡
大丈夫じゃ。妾は口が固いのはお主もよく
知っておるじゃろう…？
これも「門主の務め」のうちじゃ…♡

ヤすり

ヤすッ

ビキッ

ビキッ

前も申したが「女性器」は
ダメじゃぞ…？♡
お主のおちんぽに犯されたら
抗えないかもしれんが…♡

フーミ♡

フーミ♡

フーミ♡

ペロ～ン♡

我慢なぞするな…♡
頭空っぽにしておれば
よい…♡

あぁ…っ♡
そ、そんな姿…
見せつけられたら
もう…っ♡
おちんぽ…っ
我慢無理ッ♡

妾も、お主も、「務め」を精一杯
果たす努力をすれば良いのじゃ♡
妾はこれ以上お主が苦しむ姿は
見たくないぞ…？♡

フーミ♡

フーミ♡

フーミ♡

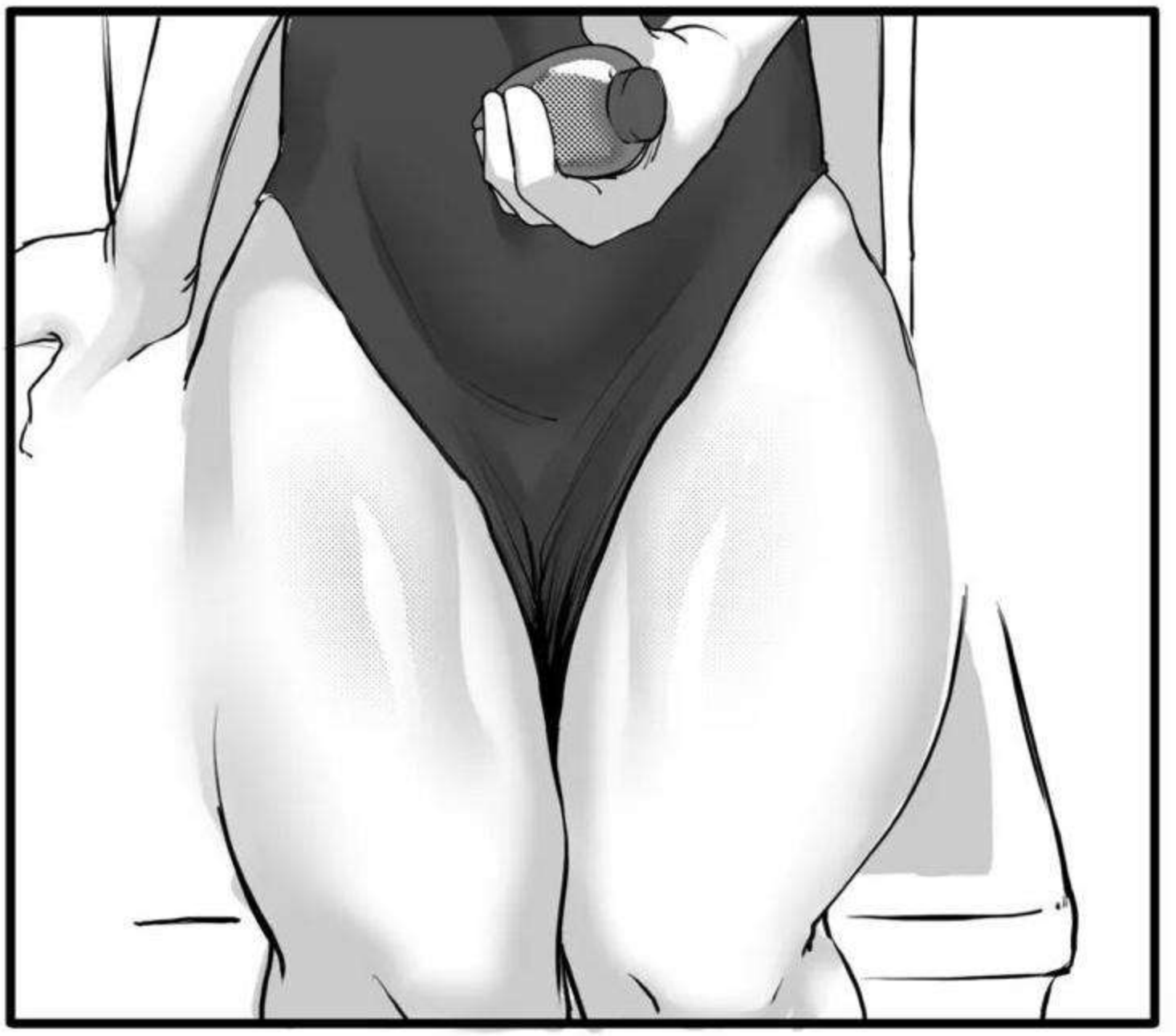
のう？♡

ほれ、はよお♡
奥の部屋じゃ♡

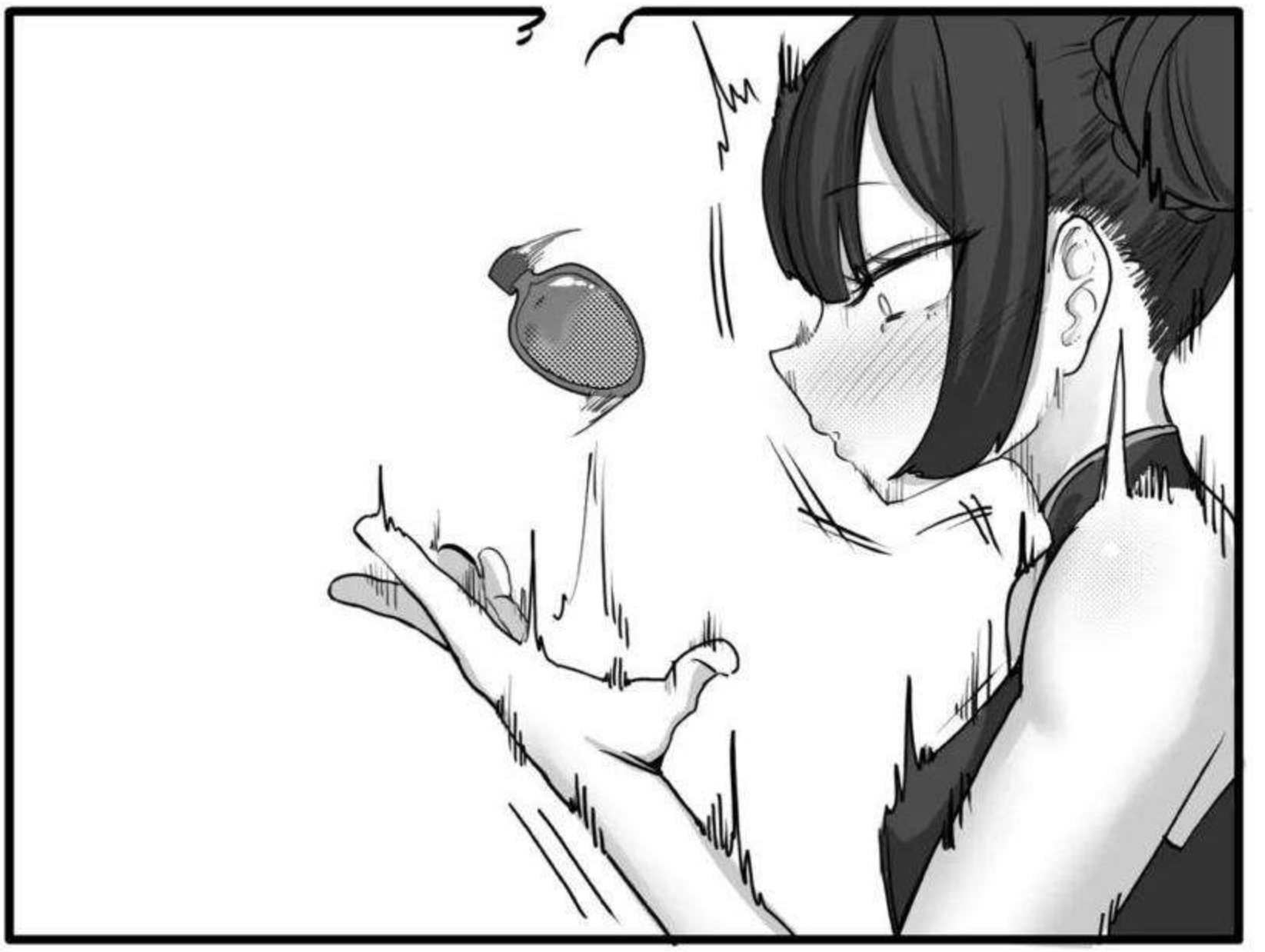
ヴー
ヴー
ヴー

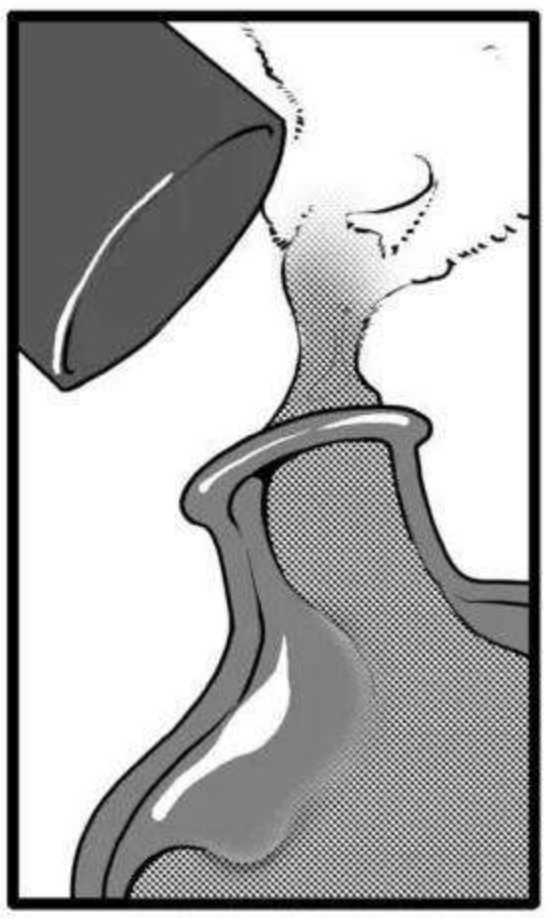




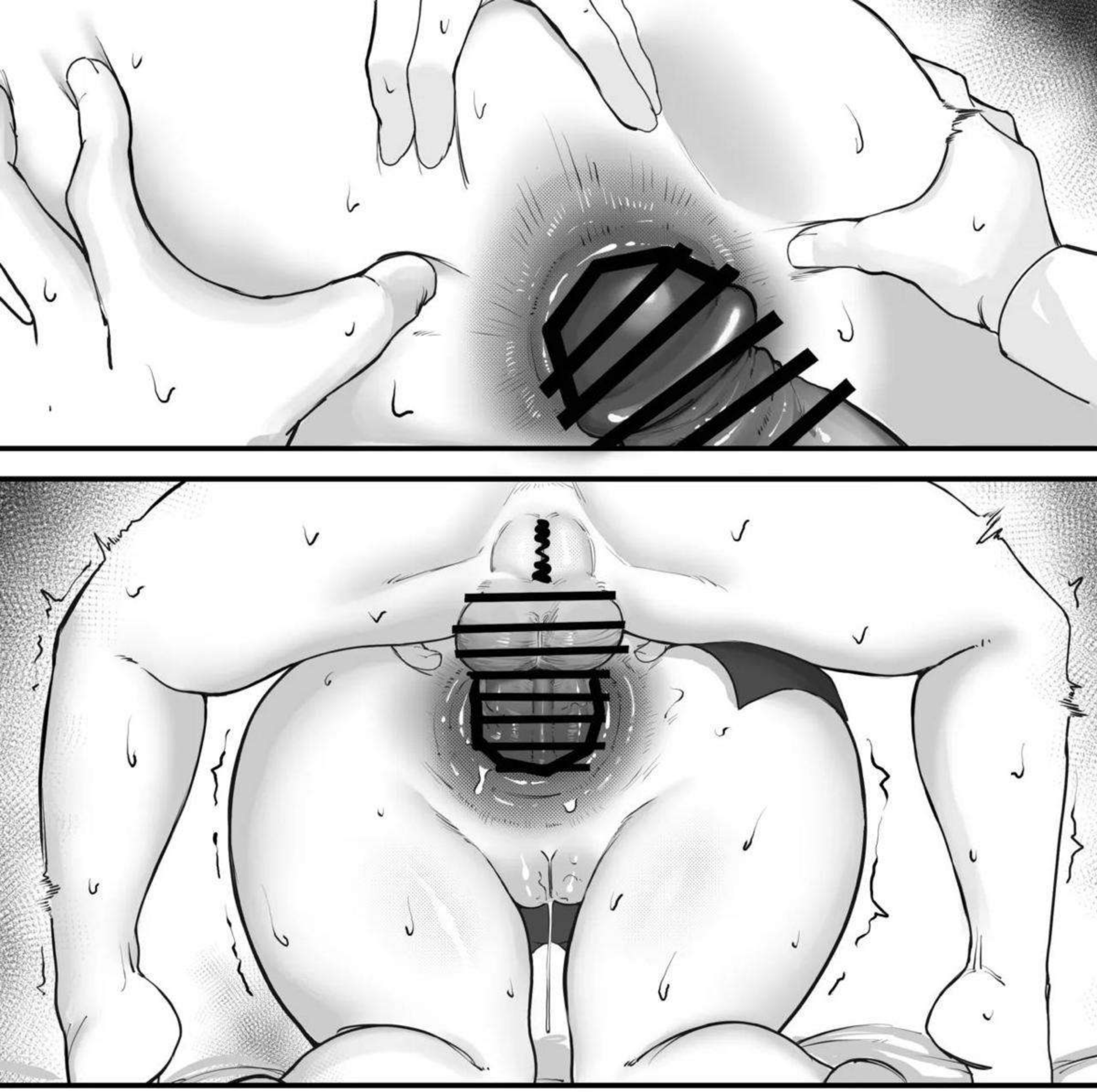


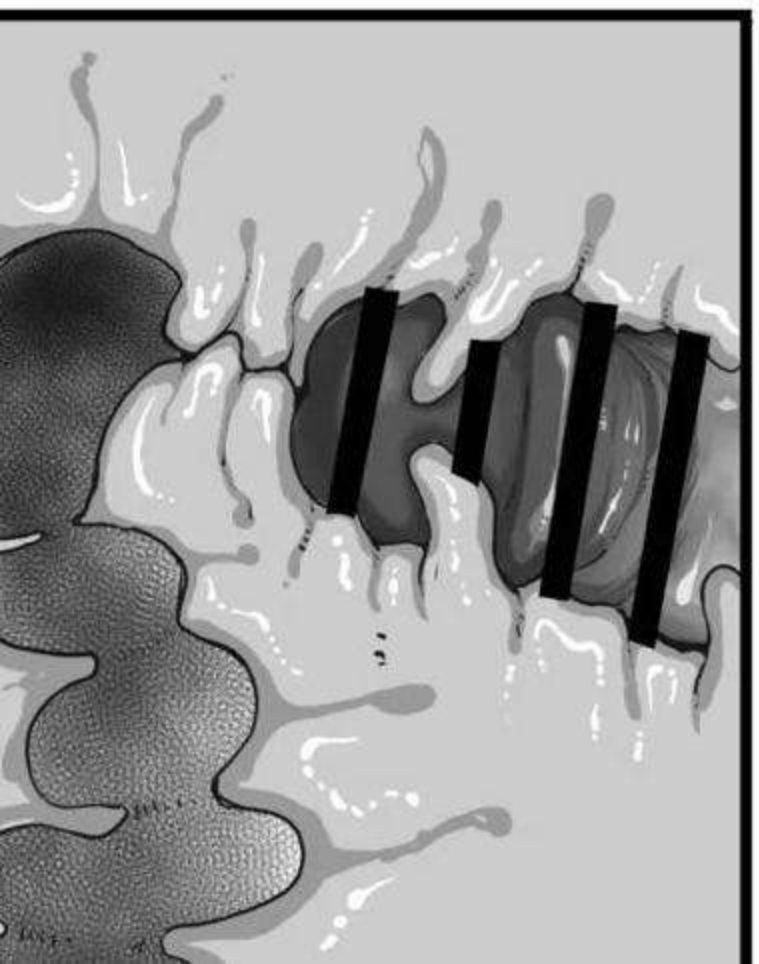


















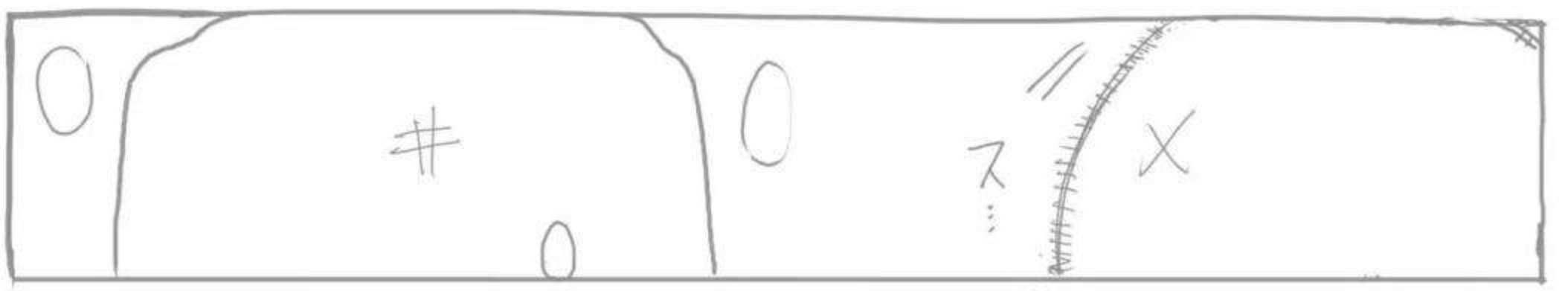


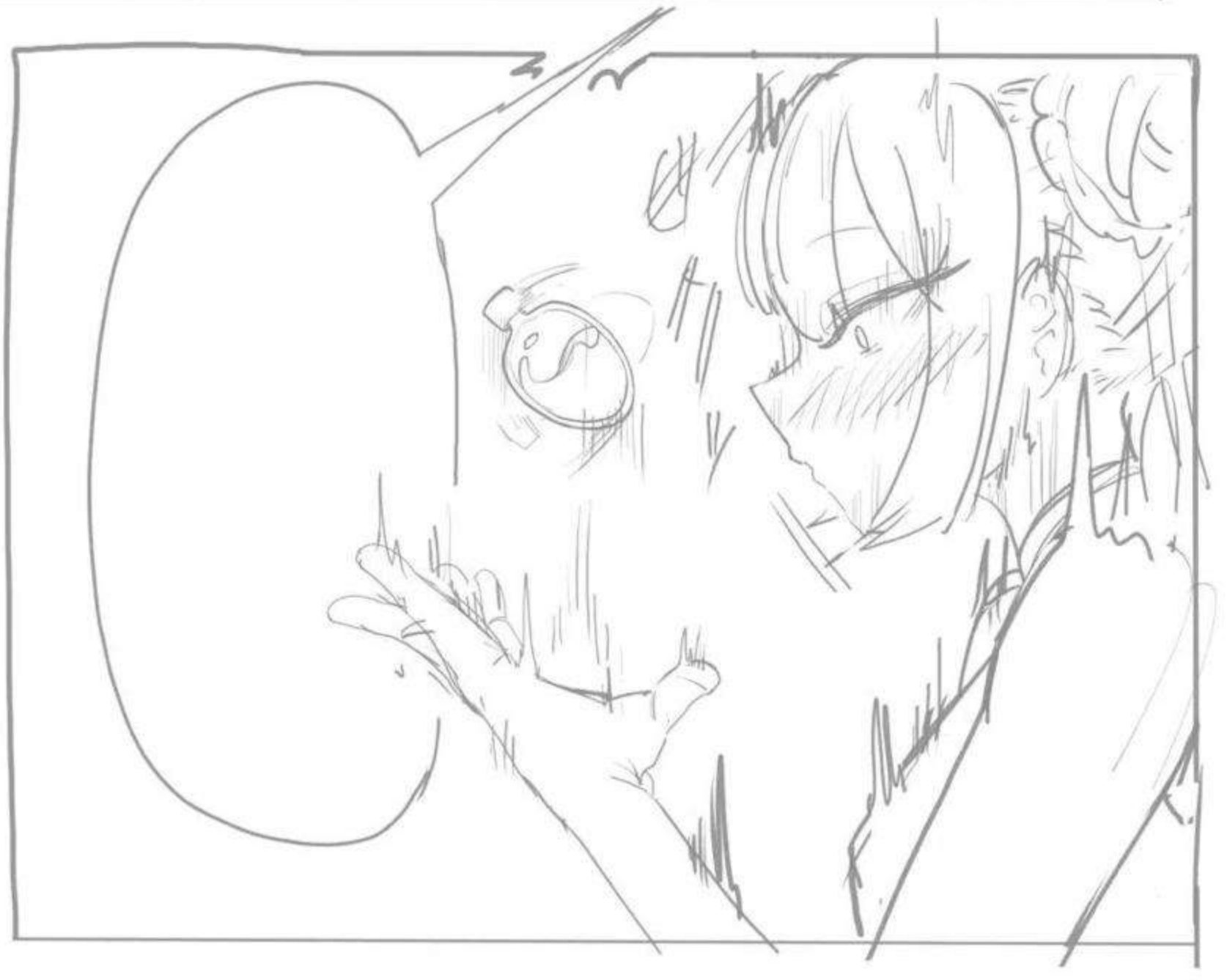
のだ!!

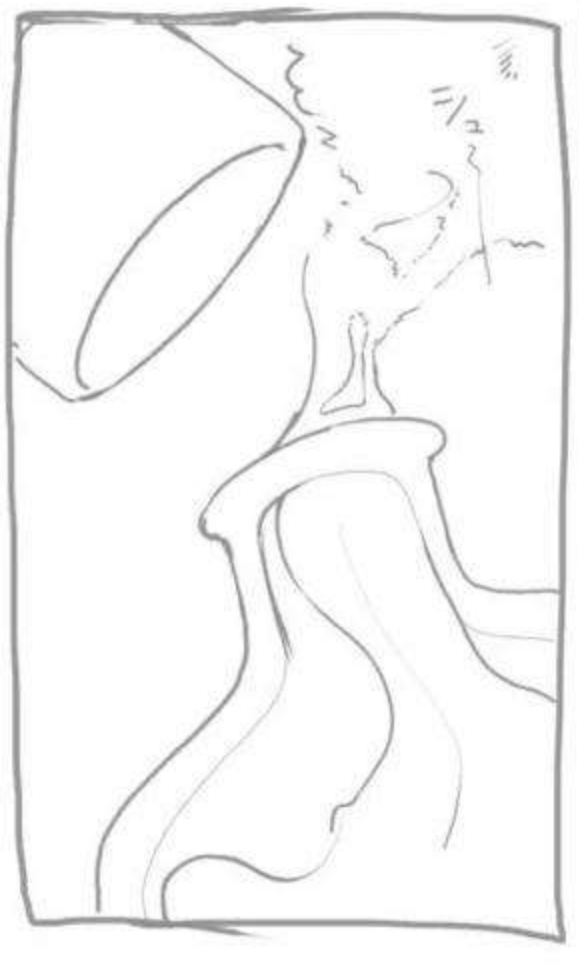
…

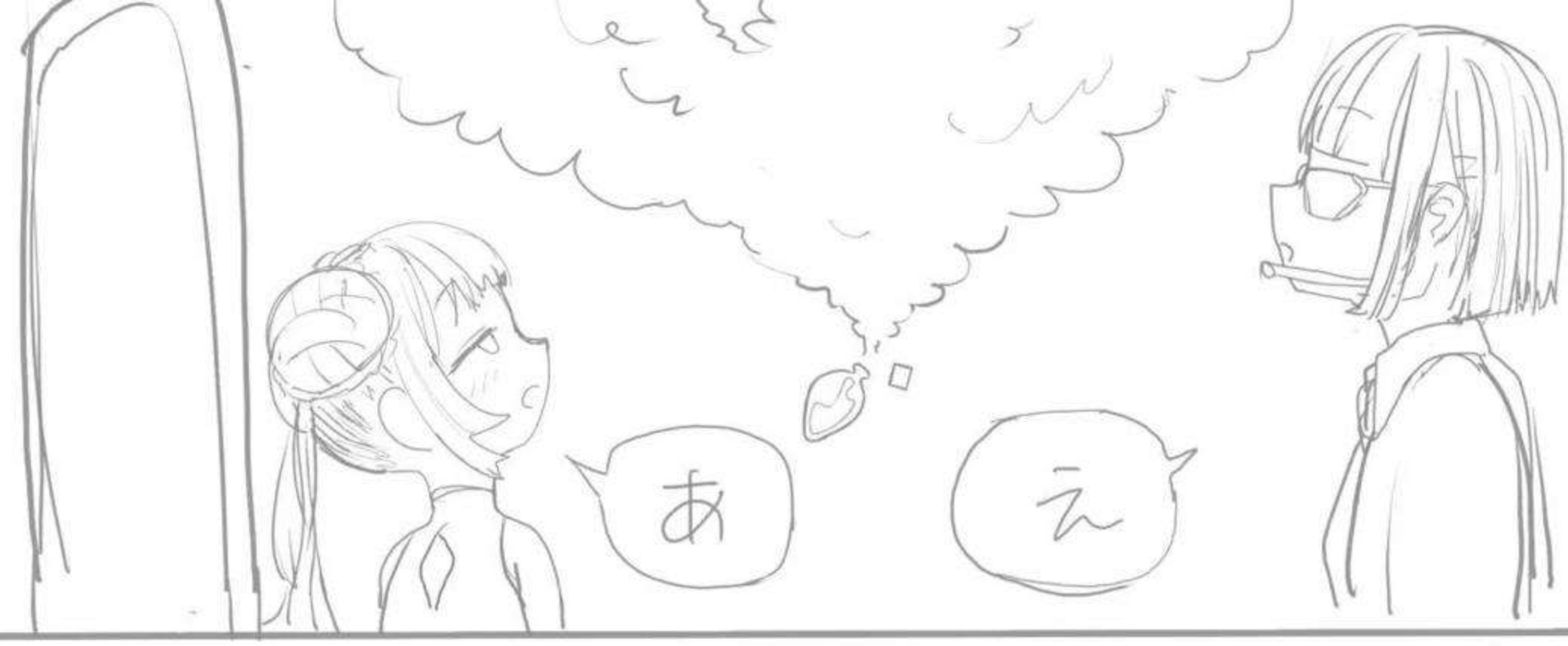











あ
え

